

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
穂高交流学習センター「みらい」 Tel.81-3111	縣陵演劇部 安曇野公演 お前に自転車の乗り方を 〜チェルノブイリ1986〜	5月9日(土) 13:30~15:00 多目的交流ホール	費無料 定160人(先着順) 申3月19日(木)から電話で 受付時間 10:00~17:00

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください。

参加者募集

こども能楽教室



親世流能楽師の青木道喜さんから能楽を学び、信州安曇野新能の演目前の発表を目指す教室を開講します。

開講式 5月15日(金) 18:00~

練習日 5月~9月 発表会 8月22日(土)

場明科公民館ほか(発表会は龍門淵公園)

対小中学生 定10人(抽選)

申4月24日(金)までに氏名・ふりがな・生年月日・住所・電話番号・保護者氏名を電話・ファクス・メールのいずれかで

問文化課 Tel.71-2463 FAX 71-2338

✉bunka@city.azumino.nagano.jp



信州安曇野新能の演目前に行われた昨年の発表会

さく葉標本は、植物を平らに広げて押し、乾燥して保存する一般的な標本の作製方法です。2023年放送のNHK連続テレビ小説「らんまん」にも登場したこの標本は、きちんと管理すれば100年、200年と保存でき、大切な資料となります。写真は1951年に寺島虎男が燕岳で採集したミヤマアワガエリのさく葉標本です。これは、当時の燕岳にこの植物が生育していたという揺るがぬ証拠。『南安曇郡誌』に掲載されているミヤマアワガエリの生育情報は、この標本に基づいたものです。こうして私たちは、70年以上前の燕岳に生育していた植物の姿を直接観察することができるとは、驚きです。



寺島虎男が採集した高山植物ミヤマアワガエリのさく葉標本

いた記録から調査を進めていきます。また、作製されたさく葉標本は豊科郷土博物館の国際登録された標本庫で大切に保管されています。こうして保管された標本は、寺島虎男のミヤマアワガエリと同じように次世代へと受け継がれ、まだ見ぬ未来で活用されていくのです。

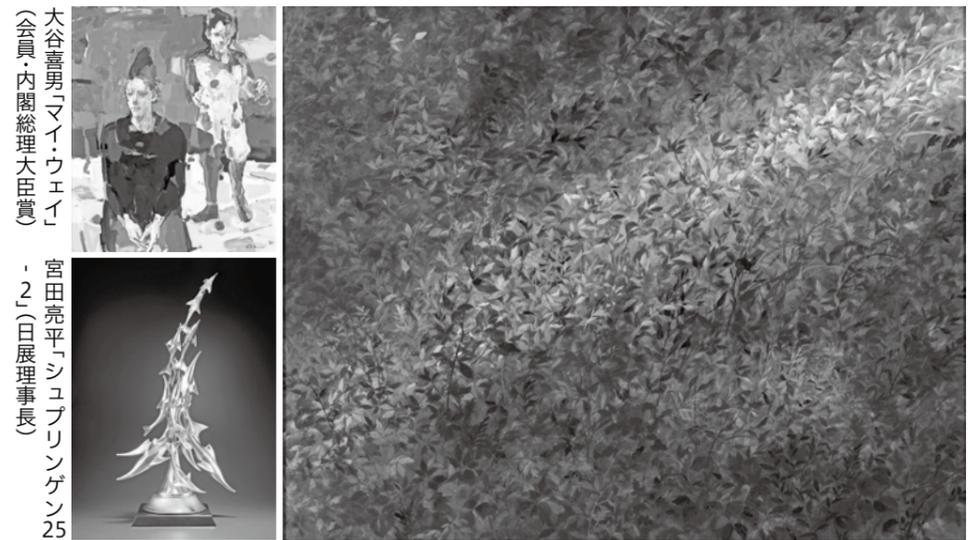
市誌編さん専門調査会 自然部会 専門調査員 藤田淳一

第41回 コラム 市誌編さんだより

過去・現在から未来に残す情報

安曇野市美術館 春の特別展
第118回日展安曇野展

日展安曇野展を4年ぶりに開催します。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門で構成された国内最大規模の美術公募展です。



大谷喜男「マイ・ウェイ」(会員・内閣総理大臣賞)
宮田亮平「シユプリンゲン」・2」(日展理事賞)

岸野圭作「微風」(会員・内閣総理大臣賞)

5月2日(土)▶31日(日) 9:00~17:00
安曇野市美術館
Azumino Art Museum

費用 一般1,200円 大学生800円 高校生以下無料

問い合わせ Tel.73-5638

■安曇野市美術館の臨時休館
日展安曇野展の展示替えのため、下記の期間は臨時休館します。
休館日
4月23日(木)~5月1日(金)

展示内容

昨年秋に国立新美術館で開催した日展の展示作品約3,000点から厳選された193点のほか、県内在住作家の入選作品約60点が一堂に並びます。



前回の日展安曇野展

安曇野市美術館 喫茶でワークショップ
高橋節郎記念美術館かんたん沈金体験

金色の粉で漆の板に模様を彫ります。作品完成後は館内の喫茶口ザースでティータイムを楽しめます。

4月11日(土)10:00~12:00 場安曇野市美術館多目的ホール

対小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴)

費3,000円(材料費・ケーキセット含む) 定10人(先着順)

申3月24日(火)から電話で 問安曇野市美術館 Tel.73-5638

